(仮称)中根・金田台地区小学校開校に関する地域住民説明会での質疑応答

日時：令和6年(2024年)6月1日 14時30分

会場：桜総合体育館

	ご意見・ご質問	回答
1	中学校の移転予定は、いつごろか決まっていますか。	桜中学校の敷地は国指定の文化財のため増改築ができないため、桜中の将来的な生徒数の増加にそなえ、新設校の北側に中学校用の用地を確保しています。老朽化の状況などを見ながらになるが、推計上では令和12～13年を想定しています。
2-1	地域説明があったとのことだったが、回覧板はきていない。昨日市役所へ電話して初めて聞いた。敷地の真横に住んでいる人に対して説明が一切ない。工事説明の紙が一枚届いただけ。草刈りがはじまりうるさい。振動がある。校庭での子どもの声や駐車場のドアの開け閉めなどの騒音に対して何の説明もない。真横の住民や地域に何の情報も知らされない、近隣の住民の要望を聞いてもらえないのはいかがなものか。	説明会について、地域の方へは、区会回覧や市のホームページなどで周知しています。
2-2	学校に通う人と近隣の住民では気にするポイントが違い、騒音や振動や光などである。春風台の近隣住民向けの説明会なども検討してほしい。	つくば市では、近年複数の学校を建設しており、これまでのノウハウの集積もあり、新設校の建設ではその改善点も踏まえて、設計に生かしています。児童や学校に来る方の動線や学校活動における使い方なども設計の中で検討しており、近隣の地域住民の方々に配慮したものとなっています。
2-3	これまでのノウハウとは言っても、住民の直接の声を聴いていないので、近隣住民を置き去りにしている感がぬ	近隣住民の方に対し、主に工事に関する説明会について速やかに実施していくことで進めていきます。

	<p>ぐえない。地域に開かれた学校とのことだが、休みの日も音がうるさいと眠れないこともある。住民の人権はどうなるのか。何が気になっているのかヒアリングが必要。どのように配慮されているか説明がほしい。</p>	
2-4	<p>着工前にお願いします。地域の方が気になる声を拾ってから次へ進んでください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
3	<p>未就学児の親で、今日の説明会は回覧板で知りました。桜中の移転予定について初めて知り、子どもは移転後に中学生になると思うが、間違いなく移転するのでしょうか。</p>	<p>現在の桜中学校の土地は掘削することができず、増改築が困難なため、将来的には移転ということで考えています。</p>
4	<p>栄小学区だが、新設校の方が近いので、柔軟に対応してもらいたい。</p>	<p>原則は指定校に通っていただくこととなりますが、地理的な理由に合致すれば学区外就学も可能となります。個別に申請していただき審議することとなります。</p>
5	<p>P.25の西側の道路について、30km規制の道路だが守っている車はない。歩道が整備されるとのことだったが、整備されても不安であり、どのように通学路を守っていくのでしょうか。</p>	<p>通学路の安全確保について、開校前に危険な箇所がないか確認していきます。開校準備委員会でも通学路について検討し、危険な箇所等は、市の道路課や警察など関係部署につなぎ対策していきたいと考えています。</p>
6	<p>学校の授業が終わったあと、子供たちはどうするのか。学童についてはどうなっているのでしょうか。</p>	<p>これまでは児童数の推計から民間の児童クラブで充足すると考えていたが、5月の保護者説明会でも公営児童クラブを求める声もあったため、学校内での放課後の居場所について検討していきます。</p>
7	<p>30km規制のところの道路は狭いため、歩道が学校の敷地に設けられるのは安心しました。資料だとバックネットや柵がないように思うが、球技などは大丈夫なのでしょうか。</p>	<p>敷地内には150cmのフェンス、グラウンドには防球ネットを設置予定です。</p>

8	通学区域の決定は令和7年度とのことだったが、今示されている通学区域から拡大や縮小はあるのでしょうか。	正式には令和7年9月の議会で学校の設置が決まり、その後、教育委員会で学区が正式に決定となります。ただし、現段階で、違う形になるとは考えていないため、お示ししている内容で進めていく考えです。
9-1	騒音や工事用車両について不安の声がある。工事が始まると工事用車両が出入りするが、どこからの出入りとなりますか。	南側の県道から進入する予定です。
9-2	学校の南側のところに信号機は設置されるのでしょうか。区会からも要望はしているのでお願いします。	ご意見ありがとうございます。
10	以前の開発の際には池が濁ったと聞いている。学校が坂に向かってできるため、子どもたちの安全対策はどうなっていますか。	校舎建物の安全については、支持地盤まで杭を打ち、子どもたちの安全面については、フェンスで囲み急斜面には子どもを行かせないような対策をとることで考えています。
11	新設校を希望する者への柔軟な対応として、書類は簡素化して対応してほしい。	近隣自治体の例も参考にし、学区外の基準の中で就学を求めている予定であり、申請書の提出は必要になると考えています。
12	子どもが九重小に通っています。新設校の学区外だが、中学校も新設されるとのことだが、現在の九重小学校の方が老朽化しているのではないか。九重小ものちのち新しくなるのでしょうか。	既存の学校についても建物の長寿命化計画等により必要な修繕等を行っていきます。
13	栗原小の今後について、希望に沿って就学できると安心しています。通学路の安全について、開校準備委員会で協議されるとのことだが、栗原小から学区外で通学する保護者の不安について一緒に考えていただけるとさらに安心できます。	栗原地区から学区外で新設校に就学する場合の通学路についても、学校の先生や保護者の方と事前に確認していきたいと考えています。

14	生徒数は700名を超え、教員を加えると750名ほどになると思うが、交通量が増え、交通状況が激変することに対し、何か考えがありますか。	南側から出入りさせ、敷地内で転回することで渋滞が緩和されると考えています。
14-2	基本的に西側は車の出入りはないのか。仮に西側を使用する場合、近隣住民は車のライトが直視される状況になるため配慮してほしい。	西側からの車の出入りは現時点では考えていませんが、中学校移転時には、再度検討しなければならないと考えています。
15-1	栗原小が存続する場合、国庫補助の割合はどのようになるのか。	国庫補助については対象面積で表すものとなるが、栗原小が残る場合は面積が約8,000㎡だが、残らない場合は5,000㎡となり、それに補助単価をかけて算定されます。
15-2	具体的な金額で、残る場合と残らない場合で建築費用における市の財源にどのくらい差が出るのか。	国庫補助単価が変わるため正確ではなく、数字だけが独り歩きしてもよくないが、簡単な試算だが約5億の差があります。
15-3	近隣向けの説明会を開催する際には、エアコンの音、先生の声等について、法令等を示し問題ないことが答えられるようにしてください。	学校建設に当たっては、地域住民の方へは様々な配慮をしていきたいと考えています。ご意見ありがとうございます。
16	学童について、まだ決まっていない、民間かもしれないという話だった。守谷市の学校に孫が通っているが、学校の敷地内に学童があり道路を渡らずに行けます。新設校の敷地内に学童の施設を作るよう希望します。	建物の建設は行わないが、学校内の空き教室等に放課後の居場所を設けることを検討していきます。